

- 国際沿岸海洋研究センターの旧実験棟・共同利用研究員宿泊所の取り壊しが「2018年4月以降」に延期となりました -

2018年2月23日

岩手県上閉伊郡大槌町赤浜地区に位置する国際沿岸海洋研究センターは、前身である大槌臨海研究センターの第一期工事が1975年2月末に竣工して以来、全国共同利用施設として、数多くの研究者の研究の場となる一方で、地域の皆様との交流の場として、40年以上の長きにわたって皆様と共に歩んでまいりました。

2011年3月11日の東日本大震災の際に発生した大津波による甚大な被害を受けながらも、被害の少なかった3階部分を改修しながら活動をつつけてまいりましたが、2018年2月中旬をもって、赤浜地区内の高台に建築途上の新しい研究実験棟にその拠点を移しました。

昨年末以来、今回の移転に伴う旧施設群の取り壊しの開始を「2018年3月」とお知らせしてきましたが、この度4月以降に延期することとなりました。実際の工事の開始時期は現在の段階では未定です。

これまで旧研究実験棟が立地していた敷地の大部分は大槌町の町有地となりますが、一部は引き続き国際沿岸海洋研究センターの敷地として屋外水槽をはじめとする実験用の飼育設備や、一般の方にもご覧になっていただける展示施設「海の勉強室」が設置され、引き続き研究活動の場であると同時に皆様との交流の場として活用される予定です。

新しい施設群が完成した際にはあらためて御挨拶をさせていただきますが、永らく皆様に愛されてきた旧施設の取り壊しまではもう少し時間的な余裕があることが分かりましたので、取り急ぎお知らせ致します。

旧施設の見学を希望される方は以下の担当者までお問い合わせください。

国際沿岸海洋研究センター センター長 河村知彦

問い合わせ先：国際沿岸海洋研究センター 沿岸保全分野 福田秀樹

E-mail: hfukuda@aori.u-tokyo.ac.jp

電話：04-7136-6405、FAX：04-7136-6406